

指定整備記録簿

(分解整備記録簿)

点検 良好	レ	交換	×	省略	P
分解	○	修理	△	先送り 該当し	N
調整	A	清掃	C	該当し	/
締付	T	給油 (水)	L		

使用者(依頼者)の氏名または名称および住所

記録簿 一郎

記録簿県記録簿市指定1丁目2-3

自動車登録番号又は車両番号

記録簿 300 み 1234

車台番号

GRS202-0123456

点検の結果及び整備の概要

●エンジン・ルーム点検 ●パワー・ステアリング ✕ ベルトの破み損傷 T の取り付けの破み レ オイルの漏れ レ オイルの量 ●冷却装置 ✕ ファンベルトの破み損傷 レ 冷却水の漏れ ●点火装置 ✕ ①スパーク・プラグの状態白金、イリジウムは省略可能) レ 点火時期 レ ディストリビュータのキャップの状態 ●バッテリー、電気配線 レ ターミナル部の破み、腐食 レ 電気配線接続部の破み、損傷 ●エンジン レ 排気ガスの状態 (CO、HC、白煙、黒煙等) レ ①エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷 ●燃料装置 レ 燃料漏れ ●公害発散防止装置等 レ メタリリング・バルブの状態 レ ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷 レ 燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷 レ 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能 レ チャコール・キャニスタの詰まり、損傷 レ 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの破み、損傷 レ 二次空気供給装置の機能 レ 排気ガス再循環装置の機能 レ 減速時排気ガス減少装置の機能 レ 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態	●室内点検 ●ハンドル レ 操作員合 レ 遊び、がた ●ブレーキペダル レ 遊び レ 踏み込んだときの床板との隙間 レ ブレーキの効き具合 ●パーキング・ブレーキ・レバー(ペダル) レ 引きしろ (踏みしろ) レ パーキング・ブレーキの効き具合 ●クラッチ・ペダル レ 遊び レ 切れたときの床板との隙間 ●足廻り点検 ●かじ取り車輪 レ ②ホイール・アライメント ●ショック・アブソーバ レ ②フロント・ホイール・ベアリングのがた レ ②リヤ・ホイール・ベアリングのがた ●ブレーキ・ディスク レ ①ディスクとパッドとの隙間 レ ①ブレーキパッドの磨耗 レ ディスクの磨耗、損傷 ●ブレーキ・ドラム レ ①ドラムとライニングとの隙間 レ ①ブレーキ・シューの摩動部分、ライニングの磨耗 レ ドラムの磨耗、損傷 ●ブレーキのマスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ レ マスタ・シリンダの液漏れ レ マスタ・シリンダの機能、磨耗、損傷 レ ホイール・シリンダの液漏れ レ ホイール・シリンダの機能、磨耗、損傷 レ ディスク・キャリパの液漏れ レ ディスク・キャリパの機能、磨耗、損傷	●下廻り点検 ●エンジン・オイル レ 漏れ ●ステアリング・ギヤ・ボックス レ ②取付けの破み ●ステアリングのロッド、アーム類 レ ②破み、がた、損傷 レ ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷 ●トランスミッション、トランスファ レ ①オイルの漏れ レ ①オイルの量 ●プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト T ①連結部の破み① X ①ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂損傷 ●デファレンシャル レ ②オイルの漏れ レ ②オイルの量 ●ブレーキ・ホース、パイプ レ 漏れ、損傷、取付け状態 ●エキゾースト・パイプ、マフラ レ ①取付けの破み、損傷、腐食 レ ①進熱板の取付けの破み、損傷、腐食 レ マフラの機能 ●外廻り点検 ●フレーム、ボデー レ 破み、損傷	▲ステアリング・ギヤボックスの機能 ▲ナックル又はかじ取り車輪の旋回動作 ▲倍力装置の機能 ▲リム又はホイール・ディスクの損傷 ▲シャシばね又はショック・アブソーバの衝撃能力 ▲クラッチ、トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能 ▲プロペラ・シャフトまたはドライブ・シャフトの回転時の状態 ▲原動機の運転状態	交換部品 数量 非常発煙筒 1個 スパークプラグ 6個 Vベルト 1本 ドライブシャフトブーツ 1個 タイヤ 2本 ワイパーブレード 2本	注 点検整備記録簿は一年間、分解整備記録簿は二年間携行保存することになっておりますが、生涯記録簿として長期間保存ください。なお、整備工場は指定整備記録簿として二年間保存。	
					（▲印は特殊な使用状況並びに特殊な構造装置による点検項目を示す）	
					交換部品 数量	
					非常発煙筒 1個	
					スパークプラグ 6個	
					Vベルト 1本	
					ドライブシャフトブーツ 1個	
					タイヤ 2本	
					ワイパーブレード 2本	
					メンテナンスに関するアドバイス	

注 ①印は12ヶ月間あたり5,000km以下の走行距離によって省略できる項目。

②印は24ヶ月間あたり10,000km以下の走行距離によって省略できる項目。

●CO、HC濃度

CO	0.01 %
HC	30 ppm

●タイヤの溝の深さ (1.6mm 以上)

前輪	左	5.5 mm	右	5.5 mm
後輪	左	4.5 mm	右	4.5 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

前輪	左	6.5 mm	右	6.5 mm
後輪	左	4.5 mm	右	4.5 mm

自動車分解整備事業者の氏名又は名称・所在地・認証番号・指定番号	点検の年月日	整備主任者の氏名
記録簿DIRECTORPRISMA SERVICE	平成20年10月1日	整備主任者1
	整備完了年月日	点検(整備)時の総走行距離
	平成20年10月2日	15,263 km

検査機器等による検査

制 動 力						前 照 灯		前 部 霧 灯	警 音 器	
前 軸	右	3450	軸重 ☒	905	左右差	100	すれ違い灯 カットオフ・有	×100 良好	(装置指定 有) 視認	テスト
	左	3350				暗(76.5) 103.5 暗(77.1) 102.5				
後 軸	右	1220	軸重 ☒	750	左右差	100	左・右	左・右	速度計の誤差	定常走行騒音
	左	1120				暗(76.5) 91.2 暗(76.2) 92.3				
計		9140	車両重量	1655		5.52	主×100	主×100	速度表示灯の誤差	4∞
手 動		3850				2.32				
走行テスト等の方法と結果						光 度	125	166	イン	1.2

目視等による検査

構 造	① 最低地上高	レ
装 置	② 最大安定傾斜角度	レ
	③ 最小回転半径	レ
	① 原動機及び動力伝達装置	レ
	② 走行装置	レ
	③ 操縦装置	レ
	④ 制動装置	レ
	⑤ 緩衝装置	レ
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ
	⑦ 車枠及び車体	レ
	⑧ 連結装置	レ
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	レ
	⑪ 騒音防止装置	レ
	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	⑬ 灯火装置及び反射器	レ
	⑭ 警報装置	レ
	⑮ 指示装置	レ
	⑯ 視野を確保する装置	レ
	⑰ 走行距離計その他の計器	レ
	⑱ 防火装置	レ
	⑲ 内圧容器及びその付属装置	レ
	⑳ その他 (運行記録計・速度表示装置等)	レ

自動車検査証、登録識別情報等通知書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

✓ 自動車の種別	✓ 用 途	✓ 自家用・事業用の別	✓ 車体の形状	✓ 車 名	✓ 型 式	✓ 乗 車 定 員	✓ 最大積載量	その他
普通	乗用	自家用	箱型	トヨタ	DBA-GRS202	(5) 人	(-) kg	
✓ 車両重量	✓ 車両総重量	✓ 原動機の型式	✓ 長 さ	✓ 幅	✓ 高 さ	✓ 総排気量又は定格出力	✓ 燃料の種類	
1600 kg	(-) 1875 kg	3GR	487 cm	179 cm	147 cm	2.99 kW ℓ	ガソリン	

依頼者の氏名等

受付年月日	平成26年12月15日
依頼者の氏名又は名称及び住所	記録簿 一郎 記録簿県記録簿市指定1丁目2-3
(備 考)	✓

(依頼者の依頼事項)

通常車検整備 ベルト異音修理	
点 検 者 の 氏 名	作 業 者 の 氏 名
検査員1	整備作業者1
	整備作業者2

初度登録年月又は初度検査年月	✓
平成20年2月	
検 査 の 年 月 日	
平成28年5月20日	
自動車検査員の氏名	
自動車検査員1	
保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
975	有
限定保安基準適合証の番号	

指定整備記録簿

（分解整備記録簿）

点検 良好	レ	交換	×	省略	P
分解	○	修理	△	先送り 該当なし	N
調整	A	清掃	C		/
締付	T	給油 (水)	L		

使用者(依頼者) の氏名または名称および住所

記録簿 一郎

記録簿県記録簿市指定1丁目2-3

自動車登録番号又は車両番号

記録簿 300 み 1234

車台番号

GRS202-0123456

点検の結果及び整備の概要

●エンジン・ルーム点検 ●パワー・ステアリング ×ベルトの緩み、損傷 T②取り付けの緩み レオイルの漏れ レオイルの量 ●冷却装置 ×ファンベルトの緩み、損傷 良好冷却水の漏れ ●点火装置 ×①スパーク・プラグの状態（白金、イリジウムは省略可能） 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態 ●バッテリー、電気配線 レターミナル部の緩み、腐食 レ電気配線接続部の緩み、損傷 ●エンジン レ排気ガスの状態（CO、HC、白煙、黒煙等） レ①エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷 ●燃料装置 レ燃料漏れ ●公害発散防止装置等 レメタリング・バルブの状態 レブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷 レ燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷 レ燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能 レチャコール・キャニスタの詰まり、損傷 レ触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷 レ二次空気供給装置の機能 レ排気ガス再循環装置の機能 レ減速時排気ガス減少装置の機能 レ一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態	●室内点検 ●ハンドル レ操作員合 レ遊び、がた ●ブレーキペダル レ遊び レ踏み込んだときの床板との隙間 レブレーキの効き具合 ●パーキング・ブレーキ・レバー(ペダル) レ引きしろ（踏みしろ） レパーキング・ブレーキの効き具合 ●クラッチ・ペダル レ遊び レ切れたときの床板との隙間 ●足廻り点検 ●かじ取り車輪 レ②ホイール・アライメント ●ショック・アブソーバ レ損傷、オイルの漏れ ●サスペンション レ取付け部、連結部の緩み、がた、損傷 ●ホイール ×①タイヤの状態（空気圧、亀裂、損傷、異常な磨耗、溝の深さ） レスペア・タイヤの空気圧 レ①ナット、ボルトの緩み レ②フロント・ホイール・ベアリングのがた レ②リヤ・ホイール・ベアリングのがた ●ブレーキ・ディスク レ①ディスクとパッドとの隙間 レ①ブレーキパッドの磨耗 レディスクの磨耗、損傷 ●ブレーキ・ドラム レ①ドラムとライニングとの隙間 レ①ブレーキ・シューの摩動部分、ライニングの磨耗 レドラムの磨耗、損傷 ●ブレーキのマスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ レマスタ・シリンダの液漏れ レマスタ・シリンダの機能、磨耗、損傷 レホイール・シリンダの液漏れ レホイール・シリンダの機能、磨耗、損傷 レディスク・キャリパの液漏れ レディスク・キャリパの機能、磨耗、損傷	●下廻り点検 ●エンジン・オイル レ漏れ ●ステアリング・ギヤ・ボックス レ②取付けの緩み ●ステアリングのロッド、アーム類 レ②緩み、がた、損傷 レボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷 ●トランスミッション、トランスファ レ①オイルの漏れ レ①オイルの量 ●プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト T①連結部の緩み ×ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷 ●デファレンシャル レ②オイルの漏れ レ②オイルの量 ●ブレーキ・ホース、パイプ レ漏れ、損傷、取り付け状態 ●エキゾースト・パイプ、マフラ レ①取り付けの緩み、損傷、腐食 レ①進熱板の取り付けの緩み、損傷、腐食 レマフラの機能 ●外廻り点検 ●フレーム、ボデー レ緩み、損傷	▲ステアリング・ギヤボックスの機能 ▲ナックル又はかじ取り車輪の旋回動作 ▲倍力装置の機能 ▲リム又はホイール・ディスクの損傷 ▲シャシばね又はショック・アブソーバの緩衝能力 ▲クラッチ、トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能 ▲プロペラ・シャフトまたはドライブ・シャフトの回転時の状態 ▲原動機の運転状態	交換部品 数量 非常発煙筒 1個 スパークプラグ 6個 Vベルト 1本 ドライブシャフトブーツ 1個 タイヤ 2本 ワイパーブレード 2本	メンテナンスに関するアドバイス	注 点検整備記録簿は一年間、分解整備記録簿は二年間携行保存することになっておりますが、生涯記録簿として長期間保存ください。なお、整備工場は指定整備記録簿として二年間保存。
--	--	---	---	---	----------------------------	---

注 ①印は12ヶ月間あたり5,000km以下の走行距離によって省略できる項目。

②印は24ヶ月間あたり10,000km以下の走行距離によって省略できる項目。

●CO、HC濃度

(アイドリング時)

CO	0.01 %
HC	30 ppm

●タイヤの溝の深さ (1.6mm 以上)

前輪	左	5.5 mm	右	5.5 mm
後輪	左	4.5 mm	右	4.5 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

前輪	左	6.5 mm	右	6.5 mm
後輪	左	4.5 mm	右	4.5 mm

自動車分解整備事業者の氏名又は名称・所在地・認証番号・指定番号	点検の年月日	整備主任者の氏名
記録簿DIRECTORPRISMA SERVICE	平成20年10月1日	整備主任者1
	整備完了年月日	点検(整備)時の総走行距離
	平成20年10月2日	15,263 km

検査機器等による検査

制 動 力					前 照 灯		前 部 霧 灯	警 音 器	
前 軸	右	3450 N	軸重 ☒ 905 kg	左右差 100 N	取 付 高 さ	右 すれ違い灯 カットオフ・有 68 cm	左 68 cm	(装置指定 有) 視認 ×100 良好 cd	テスト 暗(76.5) 103.5 暗(77.1) 102.5 102.5 デシベル
	左	3350 N		0.12 N/kg		速度計の誤差 +	聴感 1 km/h	定常走行騒音 良好 デシベル	
後 軸	右	1220 N	軸重 ☒ 750 kg	左右差 100 N	光 軸 (又はル 光ポ 度測 定 点)	テスト・下 7 cm	テスト・下 7 cm	指示針の振れ	排 気 騒 音
	左	1120 N		0.14 N/kg		左・右 0 cm	左・右 0 cm	速度表示灯の誤差 km/h	テスト 暗(76.5) 91.2 暗(76.2) 92.3 91.5 デシベル
計	手 動	9140 N	車両重量 1655 kg	5.52 N/kg	光 度	主×100 副×100 cd	主×100 副×100 cd	速度表示灯の誤差 km/h	0.01 %
		3850 N		2.32 N/kg		タイヤの振れ H C	良 4∞ 30 ppm		
走行テスト等の方法と 結果						125 cd	166 cd	サイド・スリップ イン 1.2 mm	黒煙・粒子状物質 % %

目視等による検査

構 造	①	最低地上高	レ
	②	最大安定傾斜角度	レ
装 置	③	最小回転半径	レ
	①	原動機及び動力伝達装置	レ
	②	走行装置	レ
	③	操縦装置	レ
	④	制動装置	レ
	⑤	緩衝装置	レ
	⑥	燃料装置及び電気装置	レ
	⑦	車枠及び車体	レ
	⑧	連結装置	/
	⑨	乗車装置及び物品積載装置	レ
	⑩	前面ガラスその他の窓ガラス	レ
	⑪	騒音防止装置	レ
	⑫	ばい煙等の発散防止装置	レ
	⑬	灯火装置及び反射器	レ
	⑭	警報装置	レ
	⑮	指示装置	レ
	⑯	視野を確保する装置	レ
	⑰	走行距離計その他の計器	レ
	⑱	防火装置	/
	⑲	内圧容器及びその付属装置	/
	⑳	その他 (運行記録計・速度表示装置等)	/

自動車検査証、登録識別情報等通知書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

✓ 自動車の種別	✓ 用 途	✓ 自家用・事業用の別	✓ 車体の形状	✓ 車 名	✓ 型 式	✓ 乗 車 定 員	✓ 最大積載量	その他
普通	乗用	自家用	箱型	トヨタ	DBA-GRS202	(5) 人	(-) kg	
✓ 車両重量	✓ 車両総重量	✓ 原動機の型式	✓ 長 さ	✓ 幅	✓ 高 さ	✓ 総排気量又は定格出力	✓ 燃料の種類	
1600 kg	(-) 1875 kg	3GR	487 cm	179 cm	147 cm	2.99 kW ℓ	ガソリン	

依頼者の氏名等

受付年月日	平成26年12月15日
依頼者の氏名又は名称及び住所	記録簿 一郎 記録簿県記録簿市指定1丁目2-3
(備 考)	✓

(依頼者の依頼事項)

通常車検整備 ベルト異音修理		
点 検 者 の 氏 名	作 業 者 の 氏 名	
検査員1	整備作業者1	整備作業者2

初度登録年月又は初度検査年月	
平成20年2月	
検 査 の 年 月 日	
平成28年5月20日	
自動車検査員の氏名	
自動車検査員1	
保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
975	有
限定保安基準適合証の番号	